

令和2年12月22日

八千代市長 服部友則様

八千代市議会 会派 自由民主党

林 利彦

伊東 幹雄

江野澤 隆之

成田 忠志

大塚 裕介



高齢者等へのPCR検査費用助成に関する要望書

新型コロナウイルス感染拡大に伴う緊急事態宣言の解除から半年が経過し、経済活動が一定程度の回復を見せたところであるが、いまだに終息の兆しが見えていない。一日当たりの感染者数は、全国各地で連日最多を記録しており、本市でも12月10日に9人の感染が判明した。県内の累計感染者数は8,500人を超え、市内では270人を超えている。しかしながら、感染経路不明なものや無症状・軽症の者も多く、いつどこでクラスターが発生するのか予測が困難である。

そうした中、重症例及び死亡例は、高齢者に多く見られることが全世界で報告されており、高齢者など重症化リスクが高い方々は、大きな不安を抱えながら日々を過ごしている。

さらなるクラスターの発生を回避するには、2割を占めるといわれる無症状者の早期発見が鍵となる。PCR検査費用の助成により、これまでよりも検査が受けやすくすることで、ウイルスの蔓延を防ぐことはもちろん、市民が抱える不安を解消することができる。県内では松戸市や市川市等が高齢者などのPCR検査の費用助成を実施し、市民の不安解消に大きく寄与している。市民が安心して日常生活を送れるようにすることも、行政が率先して取り組むべき施策であり、果たすべき責任なのである。

よって、下記の事項について実施するよう、強く要望する。

記

1. 本市においても、国の疾病予防対策事業費等補助金などの活用により、高齢者等へのPCR検査費用の助成をすること。